

取扱説明書

No.260226

COZO LIFTER

コゾウリフター

BEN-H150, BEN-H200, BEN-H300, BEN-H400, BEN-H500, BEN-H600, BEN-H1000
BEN-D200, BEN-D300, BEN-D400, BEN-D500, BEN-D600, BEN-D1000

この度は、コゾウリフターをお買い上げ頂きましてありがとうございました。
本機を安全に、能率よくご使用頂くために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。



注意

- 取扱説明書は大切に保管し、よく活用してください。
- 取扱説明書は最終ユーザーに必ずお渡しください。
- 取扱説明書や警告ラベルを破損・紛失した場合には、ただちに購入店に注文してください。
- 取扱説明書で使用方法に不明な点や疑問点がある場合は、購入店にお問い合わせください。

1 運送上の注意

- 本機を傾けたり倒したりしないでください。バッテリー液やオイルが漏れたり、破損の原因となるおそれがあります。バッテリー液は希硫酸です。皮膚や身体に付着するとやけどの原因となることがあります。本機の運搬の際はクロスビームを吊り上げてください。
- 車で搬送するときは風圧でフロントパネルが破損するおそれがありますのでカバーで覆ってください。

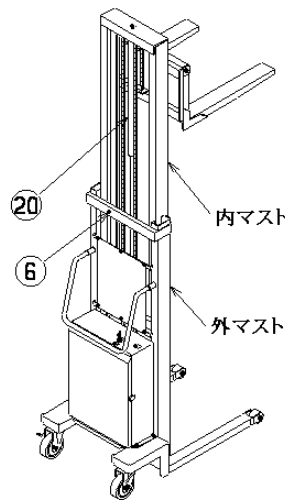
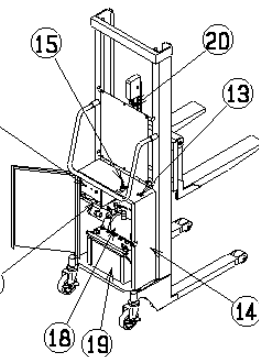
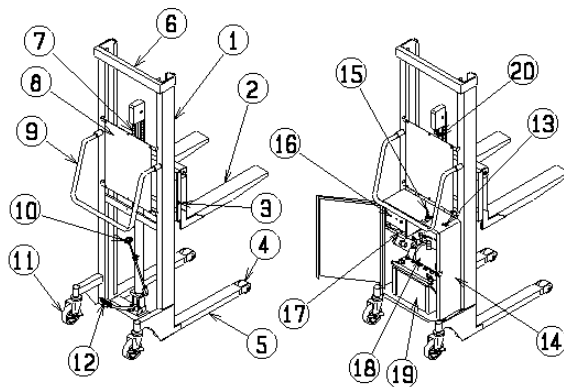


2 各部の名称

足踏油圧式
(BEN-Hタイプ)

バッテリー油圧式
(BEN-Dタイプ) (BEN-D-Wタイプ)
(ダブルマストタイプ)

品番 品名



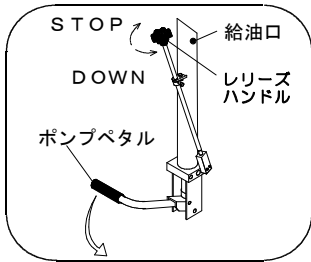
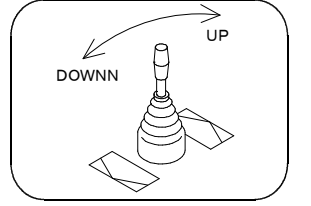
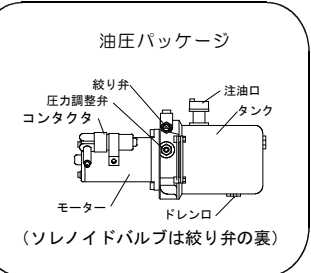
- ①マスト
- ②フォーク
- ③昇降棒
- ④固定車輪
- ⑤脚
- ⑥クロスビーム
- ⑦ローラチェーン
- ⑧フロントパネル
- ⑨ハンドル
- ⑩リズハンドル
- ⑪ブレーキ付自在車輪
- ⑫ポンプペダル
- ⑬バッテリー残量計
- ⑭ユニットケース
- ⑮レバースイッチ
- ⑯充電器
- ⑰充電用コードリール
- ⑱油圧パッケージ
- ⑲バッテリー
- ⑳シリンダー

3 安全上の注意事項

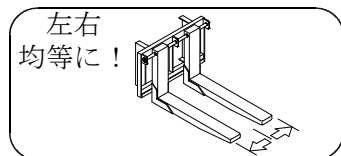
- 平坦で堅固な舗装路面で使用してください。●許容荷重以上は載せないでください。
- 屋内専用です屋外では使わないでください。●フォークの下に立ち入らない。乗らない。
- 傾斜地では使わないでください。転倒事故のおそれがあります。
- 積み荷は片荷や集中荷重にならないよう注意してください。
- リフターの可動、昇降部分は危険です。絶対に手足を入れないでください。メンテナンス時には、挟まれないよう二重三重の安全対策を施して下さい。
- 駐車時は必ず車輪のブレーキを掛けてください。●こどもにはさわらせないでください。
- 保守、点検は専門知識と技能を持った人が実施してください。
けが、火災、装置破損のおそれがあります。
- 爆発性雰囲気中では使用しないでください。
- 異常を感じたら直ちにお買い求めの販売店にご連絡ください。

 <p>警告</p> <p>傾斜地では使用禁止。 転倒の恐れがあります。</p>	 <p>フォークの下 立入禁止</p>	 <p>低くして運行</p>	 <p>こども禁止</p>	 <p>ローラーチェーンに さわるな危険</p>	 <p>フォークに 乗るな</p>	<p>—注意—</p> <p>許容荷重はロードセンターに依って決まります。本体に貼ってある荷重曲線図を参照ください。</p>

4 操作方法

足踏油圧式	<p>1, ポンプのリリースハンドルを”STOP”の方向へ回しペタルを漕ぐと上昇します。”DOWN”の方向へ回すと下降します。回し加減で下降スピードの調整ができます。</p> <p><早送り装置付> 軽荷重の時には、重荷重の時に比べ約1/3.5のポンプ回数で上がります。許容荷重の約20%で自動的に切り替わります。H150,H250タイプには装備していません。</p> <p>◇ペタルを漕いでも上昇しない場合。 リリースハンドルを”DOWN”の方向へいっぱい回し、ペタルを数回早く漕いでください。(空漕ぎする) この操作をすると、ほとんどの場合直ります。</p>	
	<p>1, レバースイッチを”UP”の方向へ倒すと上昇し、”DOWN”の方向へ倒すと下降します。リフトが上限・下限に達したら速やかにスイッチを放してください。</p> <p>注意 充電中は絶対にリフターを昇降させないでください。充電器が破損します。</p> <p>2, 下降速度調整 下降速度は規定荷重にて工場出荷時に調整しています。原則としてさわらないでください。やもうえず調整する場合には、まず絞り弁のナットをゆるめ、絞り弁を右(時計回り)に回すと下降速度は速くなり、左に回すと遅くなります。半回転づつ回して規定荷重を載せ調整してください。 調整後ナットで絞り弁を固定してください。</p> <p>3, 圧力調整弁(リリースバルブ) 圧力調整弁は規定荷重にて工場出荷時に調整してあります。絶対さわらないでください。</p> <p>4, 非常停止スイッチ ダブルマストタイプには非常停止スイッチが付いています。緊急時にこれを押すことで電源を遮断することができます。</p>	  <p>(ソレノイドバルブは絞り弁の裏)</p>

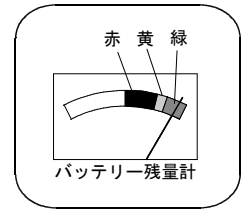
- フォークはスライド式です。通常はいっぱいまで広げ最大幅で使用してください。縮めるときは片荷にならぬよう左右均等に縮めてください。



5 充電の方法（バッテリー油圧式のみ）

◆バッテリー残量計付

- 1, 残量計はバッテリーを消費すると指針が左に振れ、おおまかなバッテリー残量を指します。（目安）
- 2, バッテリー残量計は最大許容荷重を積載し、上昇する時の指針の位置がもっとも正しいバッテリーの残量を指します。
- 3, レッドゾーンに指針が振れるようになりましたら、直ちに運転を止め充電してください。

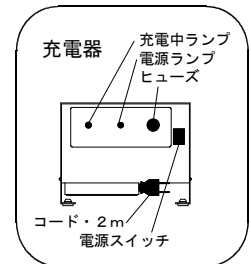


◆バッテリーの容量

バッテリーは深く放電するほど寿命は短くなります。75%放電深さで寿命サイクル数は約500サイクルです。新品は容量の100%放電できますが、古くなるに従い放電量は少なくなります。また温度にも大きく影響を受けます。30℃で100%、0℃で80%、-15℃で60%と大幅に低下し寿命も短くなります。バッテリーの保守・管理には注意してください。

◆バッテリーの充電

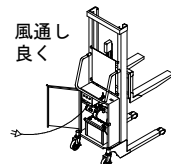
- 1, ユニットケースを開け、充電コードを引き出してAC100Vのコンセントに差し込み、充電器の電源スイッチを入れてください。電源ランプと充電中ランプが点灯し自動的に充電を開始します。充電時間は約10時間です。
- 2, 充電中ランプが消えると充電は完了です。充電器の電源スイッチを切った後コードを収納してください。充電中ランプは点滅することがありますが異常ではありません。



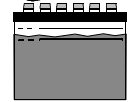
⚠ 注意 | 充電中は絶対にリフターを昇降させないでください。充電器が破損します。

⚠ 警告

- 1, 充電は屋内の風通しが良く、乾燥した直射日光の当たらない場所で、ケースの扉を全開にして行ってください。
- 2, 充電コード長さは2mです。無理に引き出さないでください。
- 3, バッテリーから水素ガスが発生します。絶対に火気を近づけたり短絡（ショート）させないでください。引火、爆発することがあります。充電中は操作しないでください。
- 4, バッテリー液（希硫酸）が目・皮膚・衣類に付かないように注意してください。失明や、やけどをすることがあります。誤って付着したときは直ちに多量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 5, バッテリーの過放電はしないでください。使い過ぎてそのまま放置すると寿命は著しく低下します。バッテリーは使用しなくとも自己放電します。1ヶ月に一回補充充電してください。
- 6, バッテリーの液面は週1回点検し、不足している場合は精製水を6ヶ所の槽のUPPER レベルまで補水してください。



液面に注意



バッテリー

6 保守点検

点検は必ず無負荷の状態にし、安全に充分注意して行ってください。バッテリーの保守点検時には、必ず保護めがね・ゴム手袋などの保護具を着用してください。

日常点検

- 本体外観上に異常はないか。 ■ 異常音や異常発熱はないか。 ■ 車輪の回転に異常はないか。 ■ リフトの昇降動作に異常はないか。 ■ バッテリー残量計は緑色か。 ■ 周囲に障害物はないか。

定期点検（一ヶ月毎）

- 溶接部の亀裂や破損はないか。 ■ 各接続部のボルト、ナット等の破損や弛みはないか。 ■ ホース・配線等に亀裂や摩耗はないか。 ■ 油圧作動油は不足していないか。油漏れはないか。 ■ バッテリーの液量は正常か。（毎週）

油圧作動油の交換・補充

油圧作動油は500時間運転又は3年経過毎に交換してください。交換する時はフォークを下げ、最高位まで上昇するまで油量を判断して下さい。使用オイルはタービン油もしくはスピンドル油です。

オイル粘度と最大量・・・足踏式：TO-SP22-N(ISO.VG22) — 1000CC

バッテリー式：TO-TA-N(ISO.VG32) — 2000CC

足踏式場合、給油口から給排油を行って下さい。

バッテリー式の場合、タンク上部に給油口、タンク下部に排油口があります。

